176	12	題号不明	永田耕一郎	言語	樹に後姿のありて晩夏の木	2012	『覚えておきたい極めつけの名句1000』	263	￥45	￥1	￥1	夏
177	12	題号不明	永田耕一郎	言語	夕空のいまが火の時朴の花	2008	『俳句歳時記　第四版』	427	￥45	￥1	￥1	夏
195	14	題号不明	遠藤梧逸	言語	来はじめし暑中見舞の二三枚	2008	『俳句歳時記　第四版』	284	￥45	￥1	￥1	夏
196	14	題号不明	遠藤梧逸	言語	少年の夏シヤツ白き遠眼鏡	2008	『俳句歳時記　第四版』	289	￥45	￥1	￥1	夏
197	14	題号不明	遠藤梧逸	言語	岬［さき］山［やま］の雨に模糊たる花茨	2008	『俳句歳時記　第四版』	426	￥45	￥1	￥1	夏
198	14	題号不明	遠藤梧逸	言語	新宮の丹の美しき夏木立	2008	『俳句歳時記　第四版』	419	￥45	￥1	￥1	夏
199	14	題号不明	遠藤梧逸	言語	恵那山に雲湧きやまぬ花南瓜	2019	『俳句歳時記　第五版』	476	￥45	￥1	￥1	夏
206	15	題号不明	岡田耿陽	言語	黒きもの動きて鱶となりにけり	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	448	￥45	￥1	￥1	夏
207	15	題号不明	岡田耿陽	言語	漂へるものゝかたちや夜光虫	2014	『昭和俳句作品年表（戦前・戦中篇）』	50	￥45	￥1	￥1	夏
208	15	題号不明	岡田耿陽	言語	大恵那の踝［かが］めばかくれ夏の草	2008	『俳句歳時記　第四版』	459	￥45	￥1	￥1	夏
212	16	題号不明	岡本高明	言語	優曇華や人に会はざるやすけさに	2019	『俳句歳時記　第五版』	424	￥45	￥1	￥1	夏
213	16	題号不明	岡本高明	言語	青梅や影あるもののみなしづか	2019	『俳句歳時記　第五版』	441	￥45	￥1	￥1	夏
228	17	題号不明	下山田禮子	言語	組みなおすこころの足場青嵐	2009	『風の円柱（エンタシス）』	72	￥45	￥1	￥1	夏
229	17	題号不明	下山田禮子	言語	ところてん女に鉄の匂いかな	2009	『風の円柱（エンタシス）』	63	￥45	￥1	￥1	夏
230	17	題号不明	下山田禮子	言語	浪の音やがて夏書となりしかな	2009	『風の円柱（エンタシス）』	114	￥45	￥1	￥1	夏
267	18	題号不明	加倉井秋を	言語	しづけさの極みに袷の襟合はす	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	154	￥45	￥1	￥1	夏
268	18	題号不明	加倉井秋を	言語	線路越えつつ飯饐える匂ひせり	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	175	￥45	￥1	￥1	夏
269	18	題号不明	加倉井秋を	言語	花茣蓙に母の眼鏡がおいてある	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	208	￥45	￥1	￥1	夏
270	18	題号不明	加倉井秋を	言語	蠅帳を置く場所として拭いてゐる	2008	『俳句歳時記　第四版』	308	￥45	￥1	￥1	夏
271	18	題号不明	加倉井秋を	言語	曲ることなき毒消売の道	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	237	￥45	￥1	￥1	夏
272	18	題号不明	加倉井秋を	言語	或る晴れた日の繭市場思ひ出す	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	263	￥45	￥1	￥1	夏
273	18	題号不明	加倉井秋を	言語	キャンプの火こころのごとく掻きたてる	2008	『俳句歳時記　第四版』	331	￥45	￥1	￥1	夏
274	18	題号不明	加倉井秋を	言語	家に隅ありて捕虫網たてかける	2008	『俳句歳時記　第四版』	336	￥45	￥1	￥1	夏
275	18	題号不明	加倉井秋を	言語	待つ明るさ夏うぐひすの次の声	2019	『俳句歳時記　第五版』	394	￥45	￥1	￥1	夏
276	18	題号不明	加倉井秋を	言語	海月赤し曲馬の天幕［てんと］のどこかの色	2001	『戦後秀句Ⅱ＜新版＞日本秀句10』	6	￥45	￥1	￥1	夏
277	18	題号不明	加倉井秋を	言語	妻病みて髪切虫が鳴くと言ふ	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	468	￥45	￥1	￥1	夏
278	18	題号不明	加倉井秋を	言語	駅降りてすぐに蜜柑の花の中	2008	『俳句歳時記　第四版』	414	￥45	￥1	￥1	夏